

2026年7月

江戸の絵画と食を嗜む FUN なひととき

品川プリンスホテル

**「東京都美術館開館 100 周年記念
大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」展
と和食のコラボレーション****【期間】2026年7月25日(土)～10月18日(日)**

品川プリンスホテル(所在地:東京都港区高輪 4-10-30、総支配人:春山新悟)は、東京都美術館で開催される「東京都美術館開館 100 周年記念 大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」展とメインタワー38Fの「味街道 五十三次」がコラボレーションした特別メニューを2026年7月25日(土)～10月18日(日)まで販売いたします。

世界有数のコレクションを誇る大英博物館に受け継がれてきた日本美術の名品が、海を越えて日本へと里帰りする本展。江戸の人々が愛した四季の情景や豊かな美意識に着想を得て、日本料理ならではの繊細な技と旬の食材で、その世界観を表現いたしました。なかでも、狩野派が手掛けた襖絵の名品「秋冬花鳥図襖」をイメージした一品では、秋から冬へと移り変わる水辺の情景を“煮凝り”で巧みに表現するなど、料理人の感性と技術を活かして、作品の世界観を食を通じた新たな鑑賞体験へと昇華させました。展覧会の感動を食へと広げる本メニューでは、展覧会出展作品から創造した料理のほか、江戸の感性を引き出した和食の数々で、絵画と料理、視覚と味覚が交差する魅力をお届けいたします。

今春に開業しましたTAKANAWA GATEWAY CITYが目指す100年先の心豊かなくらしに向けた理念に呼応するように、この特別メニューは過去と未来、芸術と料理を繋ぐ架け橋となります。そして、日本と世界をつなぐ玄関口として更なる進化を遂げようとしている広域品川圏と、現代日本の革新的な料理技術が融合することで、時間を超越した唯一無二の美食体験をお届けいたします。

「大英博物館日本美術コレクション」展×和食コラボレーションメニュー 概要**【期間】**2026年7月25日(土)～10月18日(日)**【場所】**品川プリンスホテル 味街道 五十三次(メインタワー 38F)**【料金】**¥6,500/8,500(税込み・別途サービス料13%)**【URL】**https://www.princehotels.co.jp/shinagawa/plan/53/tobikan_100th/**【ご予約・お問合せ】**レストラン総合予約 TEL:03-5421-1114(受付時間:10:00A.M.～6:00P.M.)

©本件に関する報道各位からのお問合せは
品川プリンスホテル セールス&マーケティング
TEL: 03-5421-7827(直通) FAX: 03-5421-7893

 Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。



百花繚乱御膳

¥8,500

江戸時代から伝わる食材を盛り込み、絵画をイメージし、彩り豊かに仕立てた御膳。一品一品に趣向を凝らし、まるで花々が咲き誇るような華やかさと味わいをお楽しみいただけます。

小花日和弁当

¥6,500

江戸の人々が愛した花鳥風月の世界を、日本料理ならではの繊細な技で表現しました。色とりどりの具材を花びらのように散りばめた「ばらちらし」を中心に、旬の味覚を少しずつお楽しみいただける品々で、華やかな江戸の美を一膳でご堪能いただけます。



※税込み・別途サービス料 13%

「大英博物館日本美術コレクション」展×和食コラボレーションのお品



《秋冬花鳥図襖》17世紀初
大英博物館蔵 © The Trustees of the British Museum

煮凝り[百花繚乱御膳・小花日和弁当共通]

深い秋から冬への色合いを水辺の群青色の変化で表現しています。椎茸、人参、鶏肉、金箔を散りばめ、花鳥の印象を華やかに演出しました。

《秋冬花鳥図襖》

日本美術の典型的な画題である「四季花鳥図」。秋から冬の風景を描いた襖で、桃山後期から江戸初期の狩野派作品の特徴をそなえています。題材として水辺には雁、鴨、千鳥、ツバキとウメ、中景にはカエデ、フヨウ、ヒノキが彩られています。



喜多川歌麿《文読む遊女》
1804～1806年頃
大英博物館蔵
©The Trustees of the British Museum

生春巻き「百花繚乱御膳・小花日和弁当共通」

手紙を「生春巻き」に見立て、透かして見える人参、水菜、食花で秘められた恋文を表現しました。

喜多川歌麿《文読む遊女》

最晩年の肉筆画で、遊女が熱心に手紙を読む姿が描かれています。千鳥模様の上着や七曜文などで、飾った帯の描きぶりから、豪華さの演出に主眼を置いたようです。



円山応挙《虎の子渡し図屏風》1781～1782年
大英博物館蔵 © The Trustees of the British Museum

玉子焼き「百花繚乱御膳」

丸みを帯びた虎の親子の姿を「玉子焼き」に見立てて、愛らしく仕上げました。

円山応挙《虎の子渡し図屏風》

気性の荒い小虎をほかの兄弟と同じ岸辺に残すわけにはいかず、母虎が7度往復して3匹を川の向こうへ運んだという中国の故事に取材した円山応挙の作品。

「東京都美術館開館100周年記念

大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」展 について



[会場] 東京都美術館
(東京・上野公園)

[会期] 2026年7月25日(土)～10月18日(日)

[休室日] 月曜日、10月13日(火)
※ただし、8月10日(月)、9月21日(月・祝)、
10月12日(月・祝)は開室

[開室時間] 9:30A.M.～5:30P.M.

金曜日は8:00P.M.まで(入室は閉室の30分前まで)

[URL] <https://daiei-ten2026.exhibit.jp/>

※状況により営業内容が変更となる場合もございます。最新の情報は公式Webサイトをご確認ください。
※当社のレストラン、宴会場などにおける食物アレルギー対応につきましては、食品表示法により製造会社など(当社の食材仕入先)に表示義務のある特定原材料8品目(えび・かに・くるみ・小麦・そば・卵・乳・落花生)のみとさせていただきます。特定原材料8品目の対応をご希望のお客さまは事前にお申し出ください。※仕入れの状況により、食材・メニューに変更がある場合がございます。※写真はイメージです。※上記内容はリリース時点(7月7日)の情報です。